

## 第3回 ・ 平井川流域連絡会 会議録

開催日時 平成13年3月25日(日) 14:00 ~ 16:30

開催場所 「あきる野ルピア」 3階集会室

### 1. 開 会

### 2. 議 事

#### ・連絡会運営方法についてのアンケート調査について

事務局よりアンケート調査の回答内容を報告して、内容を「かつての平井川」・「現在の平井川」・「平井川の将来に向けて」の三つのくくりにして、今後運営進めていく事を提案。

#### 【質疑応答】

市民委員：平井川の特徴は地域以外の人には知られていないので、平井川を多くの人に知って欲しい。そのため、地域外の人にも入ってもらいボランティアにより清掃等をしてもらったらどうか。  
労働省・厚生省の勤労者ボランティアセンターで雪害木伐採作業を行った。

座 長：地域に根ざしたボランティアの活動の方が良いのではないか。

市民委員：秋川ではPTA(小学校)で河川の草刈りを年2回行っている。  
平井川では行っていないのか。

市民委員：あきる野市はゴミ清掃を中心にクリーン作戦を年2回行っている。

行政委員：日の出町ではPTAなどで年2回草刈り清掃を行っている。

行政委員：都内河川では行政が把握していない市民活動がかなりある。  
行政が主体でやっていく時代ではないのではないのか。この連絡会の

場で話し合っていくべきである。

市民委員：台風後の流木等の排除はボランティアではできないので、行政が積極的にやってほしい。

座長：西建で昨年12月に河川点検を行った。この結果を踏まえ、危険性の高い箇所から取り組んでいく方針である。今後も引き続き点検を実施していきたいと思っている。

市民委員：事務局で、町内会やPTAなどのボランティア活動のリストアップをしてもらいたい。

市民委員：平井川の将来を総合的（具体的に項目をあげて）話し合っていきたい。

工事の内容について、意見を反映できる段階で説明を行ってほしい。水質の測定を行う時には協力したい。グループで行った調査の資料も参考にしてほしい。

座長：工事説明については本日の意見を踏まえ工事を行えるよう、開催したので意見交換をお願いしたい。  
水質調査の仕方も、提供して頂いた資料を参考に検討していきたい。市、町のボランティア活動のリストアップをできれば次回の連絡会で報告したい。  
次回は市、町の都市計画について、報告して頂きたい。

・平成13年度平井川に関わる工事予定について

事務局より

- ・新開橋上流右岸の護岸工事
- ・尾崎橋の架替工事
- ・菅瀬橋の拡幅工事
- ・平井川における落差工・魚道の改良について

の説明を行った。

【質疑応答】

市民委員：魚の遡上時期を考慮して、その時の水量を検討すべきである。  
秋川の高月橋上流にある魚道は機能していないのではないかと。

行政委員：農業用水の取水のため、落差工のゲートを操作している。  
アユは4～5月の洪水後、水位が低くなった時に集団で遡上する習性があるので、現在の状況では登ると思われる。

市民委員：アユだけでなく、他の魚の習性も踏まえた上での魚道でなくてはならないのではないかと。  
P3の表2で湧水期のデータも必要ではないかと。

行政委員：湧水期より非湧水期の方が魚が登れる。また、湧水期は魚道なしで登れる。魚道に、すべての魚が登れるよう求めることは経済性からみても限界がある。

座長：今後、遡上の時期も考慮し、湧水期のデータも集めていきたい。

市民委員：平井川で稀少種となっている魚はなにか。

副座長：ギバチ、カジカなどである。

市民委員：稀少種を考慮して、魚道を考えるべきではないかと。

市民委員：ハヤ、アユ、ハゼなどの保護を部分ぶぶんで行っていくべきである。  
アユの遡上を基準にして魚道をつくっているのか。

行政委員：アユは魚道が無いと絶滅してしまいうる魚種なので、多摩川本流でも魚道を設置している。支川でもできるだけ登れるよう魚道を設置している。

市民委員：平井川にどのような魚が残ってほしいかを将来像で検討しつつ魚道を作してほしい。

市民委員：平井川全域に全種の魚が棲息する必要はない。全域に棲む魚と、稀少種はどの辺で棲息できるか把握した上で川づくりをすべきではないかと。

市民委員：総合的に水質と魚の棲息状況といった詳細で将来どのような川にしたいかイメージを検討したい。

座長：魚道の整備も最近になって実施してきているので、問題点も多々あるが今後会の中で提案し検討していきたい。

市民委員：魚道について、外国の文献も調査してほしい。

市民委員：文献だけではなく平井川のオリジナルの魚の調査をしてほしい。

市民委員：今年度の工事の費用を教えてください。

事務局：新開橋 約5～8千万円  
尾崎橋 約1億円  
菅瀬橋 約2千5百万円  
魚道の補修 100万円～300万円/箇所

市民委員：環境のことを考えると目先の工事に多額の金額をかけているように思われる。将来的な平井川のあり方を考えて整備していく必要がある。

座長：尾崎橋の溢水等最低限必要な改修をしていく。流域全体を考慮して異常気象にばかり対処するのではなく流域住民の財産を守るため、総合的な川づくりをしていく。

市民委員：本当に必要な堰なのか会で検討しないのか。

行政委員：堰は農業用水を確保するため設置している。落差工は河床を安定させ水の勢いをおさえるため設置する。なんでもかんでもコンクリートがダメという治水上の安全度が低下する。必要なくなったものは取り除いていくなど見極めて工事をしている。

市民委員：平井川の改修工事は河床を掘るのか。流量を確保するためには川幅を広げることで掘ることを防げるのではないか。

事務局：尾崎橋の工事では河床は掘らない。将来的に流出係数0.8の対応時には河床を下げることになる。

市民委員：複断面で改修して川幅を狭めているイメージがある。

行政委員：現況の河道にそった形で都市計画決定し、川幅を決めている。場所ごとに河道は柔軟に対応できる。

市民委員：代田橋から上流は単断面か。

行政委員：基本的に単断面でいく。

市民委員：河川余地について検討できるか。

座長：都市計画線を外れた河川余地については検討していきたい。

市民委員：湧き水の保護は水量確保につながるので、地域住民の意見を聞いて環境をどのようにするのか、考えはあるのか。

行政委員：下水道が整備されると、降雨が下水へ入るなど湧水が少なくなっている。開発時に調節池や浸透できる施設を設置するなど流域全体の都市づくりまで広げて考えていかなければならない。

座長：今回はあきる野市、日の出町の都市づくりについて議論したい。

市民委員：町づくりの総合的観点から新開橋の工事で玉石護岸はやめてほしい。河畔林を残す形で検討してほしい。

事務局：私有地に設置するので、土地所有者と調整したい。

・ 次回の予定について

事務局：今回は、あきる野市・日の出町より都市づくりについて説明頂き、平井川の川づくりについて考えていきたい。

・ その他

市民委員：平井川を都内の人々にPRできないか。環境団体がするのか、行政がするのか。

座長：将来にむけてという形で検討していきたい。

市民委員：鵜の被害、平井川の未整備箇所での水難事故についても検討したい。

### 3 . 閉 会